

パワーアップ°にいがた

POWER UP NIIGATA



新潟商工会議所 会報 | No.971

6

June 2022



CONTENTS

- 特集** POWER UP INTERVIEW
2 株式会社新潟米山薬品
4 会員ねっとwork
6 新会員情報
7 商工会議所の動き
11 経営ニュースプラス
12 景気観測調査
13 経営とSDGs
14 ITを事例からひも解く
15 行政等からのお知らせ
16 インフォメーション

社内、各部署でご回覧ください。

新潟商工
会 議 所 〒950-8711
新潟市中央区万代島5番1号万代島ビル7階
TEL 025-290-4411(代) FAX 025-290-4421
URL <https://www.niigata-cci.or.jp>
E-mail office@niigata-cci.or.jp (代)

北 新 潟
支 所 〒950-3125
新潟市北区松浜本町4-7-24
北新潟商工会館内
TEL 025-258-3841
E-mail kita@niigata-cci.or.jp

まちづくり
支 援 課 〒951-8068
新潟市中央区上大川前通7番町1169
新潟国際情報大学新潟中央キャンパス3階
TEL 025-223-6272 FAX 025-229-1788
E-mail tmo@niigata-cci.or.jp



LINE
新潟商工会議所
公式アカウント

株式会社新潟米山薬品 代表取締役 ^{やまぐち こうじ} 山口 浩二 氏

環境衛生を守る事業で地域に貢献。 縁の下の力持ちでありたい



PROFILE

1961年生まれ、福岡県筑紫野市出身。26歳のとき、勤めていた医療機械販売会社の転勤で東京へ。結婚を機に妻の実家がある新潟市に移住する。一度は医療機械販売の仕事に就くが、1990年に義父が経営する新潟米山薬品に入社。1998年、代表取締役就任。新潟県しろあり防除協会会長、関東しろあり対策協会副会長。また、「NIIGATA光のページェント」実行委員長などを経て、2020年、新潟市南商工振興会会長に就任。

害虫・シロアリ駆除などの相談、施工に365日24時間対応し、高い技術とサービスで地域の顧客から信頼を得ている新潟米山薬品。何よりも「人」を育てることを大切にしながら、街づくりの活動にも情熱を注ぐ山口社長に、お話を伺いました。



株式会社新潟米山薬品

〒950-0941

新潟市中央区女池8-15-16

TEL : 025-283-6333 (代)

<https://yoneyamayakuhin.co.jp/>

“ありがとう、助かった”と言ってもらえる仕事をしたい。そして社員から“米山薬品にいてよかった”と言われる会社でありたいと思います

害虫駆除・シロアリ防除と 地域に根差した薬局経営を展開

新潟米山薬品は、防疫薬剤販売会社から独立した前社長が1966年に創業。以来、ゴキブリ、ネズミ、シロアリなどの駆除・防除を行う環境衛生対策事業、薬局運営事業の2つを柱としている。「害虫駆除をはじめとする総合衛生管理は、ホテルや病院、学校、飲食店など厨房を持つ施設、シロアリ防除は一般住宅の施工が主体で、他にも感染症対策や消毒作業も手掛けています。また、地元で50年以上経営する薬局“ファーマシーよねやま”は、お客様との会話を大切にしながら商品やサービスを提供できることが強みであり、地域の方々に愛されてきた理由かもしれません」と山口社長は語る。

大切なのは「人間力」。 社員の心を育てることに注力

害虫やシロアリ駆除の仕事では、何より結果が求められる。「例えばシロアリ駆除でいい加減な施工をすれば、翌年も発生してしまう。社員には“自分の家だと思って作業をしよう”と語っています」。さらに、お客様から信頼を得るためには、技術だけでなく社員の「人間力」を高める教育が重要だという。「毎月一回行う早朝会議の中で、仕事や生き方について参考になる本を社員みんなで読んでいます。繰り返すことで100回のうち1回でも何かを感じてくれればいい。人を育てていくことが大切なんです」。

また、山口社長は約20年前から月1回、手書きの「新潟米山薬品便り」を発行。お客様とのコミュニケーションを深めるツールであるとともに、自分の考えや想いを社員に伝えるための発信場所でもあるという。



(作業風景)
鳥インフルエンザの車両消毒の様子。害虫・シロアリの駆除だけでなく、ノロウイルスや新型コロナウイルスに対応した消毒作業など、プロならではの感染症対策も重要な仕事だ。
(光のページェント)
新潟市南商工振興会が1987年に始めた「NIIGATA光のページェント」。イベントを通して駅南地域の魅力の発信、発展に取り組んでいる。

街づくりの活動を通して 新潟の発展に貢献したい

新潟商工会議所の小規模企業振興委員を務め、「地域の企業の方が相談に来られたことはまだありませんが、補助金やその他の支援策など、振興委員として知っておくべき情報は商工会議所さんからお聞きし、ご相談があったときにお応えできるようにしたいと思っています」と話す山口社長。2020年からは新潟市南商工振興会の会長も務め、駅南・鳥屋野潟を中心とした街づくりの政策集団として、鳥屋野潟周辺の開発、新潟市内の拠点を結ぶモノレールの推奨、日本海ドームシティプロジェクトへの参画、イベント開催など街の発展に繋がるさまざまな活動を行っている。

今後については「事業を大きくするよりも、地盤をしっかり固めることが大切。これからも誠実に仕事に取り組み、見えないところでみなさんを支える、縁の下の力持ちでありたいです」と山口社長。信頼される事業、そして街づくりを通して地域の発展に貢献していく。



(米山薬品便り)
手書きの紙面に温もりを感じる「新潟米山薬品便り」。毎月届くのを楽しみにしているお客様も多いという。